

平成 25 年 6 月 27 日  
沖縄県がん診療連携協議会  
相談支援部会

### 地域の療養情報おきなわがんサポートハンドブック「第3版」記者会見報告書

日 時：平成 25 年 5 月 11 日（土） 16：45～17：10

場 所：琉球新報天久本社 2 階 多目的ホール

出席者：村山 貞之 氏 沖縄県がん診療連携協議会議長（琉球大学医学部附属病院長）

樋口 美智子氏（独立行政法人那覇市立病院医療支援部総合相談センター長）

渡邊 清高 氏（国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報提供研究部  
医療情報コンテンツ研究室長）

参加者数：（医療関係者）7 名、（マスコミ関係者）3 名



琉球新報 第37483号  
2013年5月20日(月) 22面

沖縄タイムス 第23113号  
2013年6月9日(日) 25面

**グリーンケアも紹介**

**おきなわがんサポ第3版発行**

県と県がん診療連携協議会、琉球大学医学部附属病院がんセンターはこのほど「患者必携、地域の療養情報『おきなわがんサポートハンドブック第3版』」を

2011年3月の1版、12年3月に発行された2版に引き続き改訂された3版は、当事者の意見も取り入れながら、従来の医療や治療、患者会情報、医療費制度に加え、今回は闘病しながらも働く人が多いことから、就労支援や、大切な人

を失った心に寄り添うグリーフ（悲嘆）ケアについても触れられている。

県がん診療連携協議会議長の村山貞之氏は、1日に開いた記者会見で、「がん」と宣告されて、患者や家族が不安になった時に役立つのがこの本。地元の正しい情報が得られる」と、関係者の利用を呼び掛けた。

県内の医療機関で配布しているほか、協議会のホームページでもダウンロードできる。問い合わせは琉球大医学部附属病院がんセンター ☎098（89）513688

**がん支援へ冊子が完成**

**第3版患者と家族に配布へ**

県内のがん患者と家族に必要な地域の療養情報を網羅した「患者必携 おきなわがんサポートハンドブック」の第3版がこのほど完成した。琉球大学医学部附属病院がんセンターと県がん診療連携協議会、県が2万部を製作。県内の医療機関を通じて、すべてのがん患者と家族に配る。

がんと診断された時の対応から、セカンドオピニオンを得る方法、治療法の選択、相談、痛みの緩和と外来などを掲載。患者会の連絡先や医療費負担軽減策も紹介しており、患者が知りたい情報を網羅している。

昨年発行した旧版に、新たに小児がん、就労支援、グリーフケア（死別体験の悲しみを癒やす支援）に関する情報を追加した。各章の冒頭に青年の下のさとうきび畑、勇壮なハリーなど沖縄らしい写真を多用し親しみやすい作りにした。

A5判80頁。琉大病院の村山貞之病院長は「がんは告知されると本人も家族もショックが大きい。正しい治療を受けるためにハンドブックを生かしてほしい」と話す。問い合わせは琉球大学医学部附属病院がんセンター、☎098（89）513688。